



令和6年 8月 1日
目黒区立ひもんや保育園長

ある日午睡に向かう時間になったのですが、5歳児クラスの子どもが意見の食い違いから双方納得できずにいるということだったので「続きは事務所でどうぞ」と言うと「そうする」と事務所のテーブルで向き合って話し合いの続きが始まりました。「どういう訳なの?」「〇〇君はこういうこと?」「(話を)元に戻すよ」「それじゃちっとも話が進まない」等そんな白熱したやり取りが約1時間続きました。「そろそろ1時間経ちますけど・・・」と声をかけてみると、子どももびっくりして「え!1時間?」と目をまん丸にし、思わず顔を見合わせて笑っていました。「続きはお昼寝が終わってからにしよう」と言っていたのですが、午睡明けには2人とも「もういい」とのことでした。とことん話し合えたことに満足したのかもしれません。その数日後にもまた数人の子どもたちが事務所にやって来て“討論会”が始まりました。「ちょっとは人の気持ちも考えてよ」「ジャンケンして負けた方が〇〇君の話聞こう」等と言っていたのですが、そのうち「もう眠いからおしまいにしよう」「寝るのが一番」と言いながら「終わりまーす」と帰って行きました。“この終わりで良いの?”と大人は思いがちですが、なるべく子どもたちだけの“討論会”に口出ししないようにしています。思いを十分に出し切る中で相手の思いも知ったり折り合いをつけたり、考えようとしていたりしている姿を見守りたいと思っています。

これから益々デジタル化が進む時代を生きる子どもたちが、今のうちから人と話し合う中で思い通りにならない悔しい感情や、解決できる喜び等リアルな感情体験を沢山経験してほしいと願っています。

8, 9月の行事

プールじまい
中旬 身体計測・避難訓練

引き渡し訓練



栽培活動 ~幼児クラス~

たんぽぽ組 (3歳児クラス)

ナスとピーマンを収穫しました。
保育士「何味にする?」
子どもたち「かわいい味」
実際は味噌味にしてもらいました。



たくさん
とれたよ



こすもす組 (4歳児クラス)

トマトの収穫をしました。ドックパンの具の中に入れてもらい「何個でも食べられる」と次の収穫を楽しみにしています。

おおき
なーれ



ひまわり組 (5歳児クラス)

収穫したジャガイモをフライドポテトにして食べました。味は塩、青のり、チーズでバイキング形式にすると「ホテルみたい」と大好評でした。

いっぱい
食べられる



ふしぎ？ はっけん👁️

～子どもたちの見つけた「あれ？」「なにかな？」を紹介していきます～

つくし組（0歳児クラス）

保育士がじょうろで水を流してみるとこぼれ落ちる水をまじまじと眺めています。「気持ちいいよ」と声をかけ水をかけ流しながら保育士が触れて見せると、一人の子がそっと手を伸ばしました。水に触れたとたん思わず笑みがこぼれ、保育士に向かって微笑みかけてくれます。もう一度水を流すと、伸ばしていた手を閉じたり開いたりしています。手で水を掴もうとするものの、うまく掴めないのが不思議そうな表情を見せています。保育士が「取れないね」と言うと、それまで片手で触っていたところに反対の手も伸ばし、両手でつかみ取ろうとしていました。どうにかして手にしてみようとする姿が微笑ましく感じました。

日常生活や遊びの中の“初めて”や“なんだろう”と思うことがたくさん溢れている子どもたちです。これからも様々な発見や思いに共感しながら保育士も一緒になって面白がっていきたいと思います。



すずらん組（1歳児クラス）

カラーポリ袋を繋げてテラスに大きな屋根を作りました。子どもたちは窓の外を見ていつもと違うことに気付き「あっあっ」「(あれ)なー」と窓にぴたっとくっついて不思議そうに見ています。1人の子が「いこっ！」と言うと、早速みんなでテラスに出ていきました。色とりどりの屋根を見上げ、好きな色を探したり屋根の下を歩いたりして楽しんでいると風が吹き、空のほうへ屋根が上がっていくと「わぁー！」と歓声があがります。手を伸ばして屋根に触り「たっち」と嬉しそうな笑顔もありました。友達と屋根が動くことを期待して見上げ「きたー！」と指を差し保育士に教えてくれました。

この日は曇っていたので、晴れた日や雨の日にもカラーポリ袋の屋根からどんな不思議が見つかるのか、子どもたちと発見を楽しんでいきたいと思います。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

トランポリンに寝転んでいた時に友達がやってきて隣でぴよんぴよんと飛び跳ねました。寝転んでいた子の体も跳ね上がり、思わず「わぁー」と声を上げて楽しんでいます。跳ねながら声を出したので「わぁ〜」と声も揺れていました。その声が面白くて何度も繰り返し楽しんでいます。初めは1人で声の変化を楽しんでいましたが、友達にも「ねえ、ころんで（寝転がって）あーって言って」と面白さを伝えようとしています。言われた子どもたちも最初は何を言われているのか分からなかったようですが、同じようにやってみると声が揺れる面白さに気づきみんなで大笑いでした。

子どもたちがどんな面白いことを発見していくのか、これからも楽しみにしていきたいと思います。

